報道関係者　各位

令和８年１１月１１日
Ｊ Ａ 共 済 連 山 口

スタントマンが自転車交通事故をリアルに再現

山口県立大学附属周防大島高等学校にて、『生徒向け自転車交通安全教室』を開催（１１月１７日）

― 事故の衝撃や危険性の疑似体験により、自転車交通ルールの順守を呼びかけます ―

ＪＡ山口県およびＪＡ共済連山口では、**山口県警察と連携して、令和８年１１月１７日（火）１３時２０分より、山口県立大学附属周防大島高等学校（住所：大島郡周防大島町西安下庄489）にて、スタントマンによる自転車交通事故の実演を通じて、事故の衝撃や恐さを生徒に実感していただくスケアード・ストレイト方式の自転車交通安全教室を開催**します。

警察庁交通局の「令和７年中の自転車関連事故」によると、**令和７年中に発生した自転車関連事故件数は約７万件**で、横ばいで推移しています。また、令和８年度４月１日から自転車の交通違反に対し、車やオートバイと同様に反則金の納付を通告するいわゆる「青切符」による取り締まりも開始しております。

そんな中、ＪＡ山口県およびＪＡ共済連山口では、通学や日常生活において自転車の利用頻度が高い中・高校生を対象に、**スタントマンによるスケアード・ストレイト方式を用いた自転車交通安全教室**を開催し、自転車交通ルールの順守による交通事故の未然防止を訴えます。

報道関係の皆様方におかれましては、ご多用のところとは存じますが、取材のご検討を賜りたくご案内申しあげます。

なお、開催概要につきましては、次頁をご覧ください。

※別添に「昨年度実施した生徒向け自転車交通安全教室の様子」を添付しておりますので、ご参考ください。

※スケアード・ストレイト方式

スケアード・ストレイト方式は学習者に危険を疑似体験してもらうことにより、社会通念上望ましくない行為を自主的に行わせないようにする教育技法です。

今回の自転車交通安全教室では、スタントマンが参加して生徒の目の前で交通事故を再現し、事故の衝撃や恐さを実感してもらうことで、ルールやマナー違反が交通事故を招く危険性があることを考えてもらい、自転車交通ルールの理解と実践を呼びかけます。

「自転車交通安全教室」開催概要

１．日　時：　令和８年１１月１７日（火）　１３時２０分～１５時００分（予定）

２．会　場：　山口県立大学附属周防大島高等学校グラウンド（雨天時：同校体育館）

３．住　所：　**大島郡周防大島町西安下庄 489**

４．参加者：　山口県立大学附属周防大島高等学校　214 名

５．共　催：　山口県立大学附属周防大島高等学校・山口県警察

６．協　力：　山口県教育委員会

７．主　催：　ＪＡ山口県・ＪＡ共済連山口

８．内　容（予定）：

（１）主催者あいさつ	ＪＡ山口県周防大島統括本部
（２）協賛者あいさつ	山口県警察本部交通事故抑止対策官
（３）柳井警察署管内の交通情勢	柳井警察署交通課長
（４）自転車の乗り方指導等（１０分間）	山口県警察本部交通企画課
（５）交通事故再現スタント	株式会社倉田プロモーション
スタントマンによる自転車事故再現スタント（４０分間）	
（６）開催校総括	周防大島高等学校校長

この件に関するお問い合わせ先

ＪＡ共済連山口（全国共済農業協同組合連合会山口県本部）
普及事業部　普及企画Ｇ（担当　：秋月）
TEL　：０８３－９７３－４５９３
FAX　：０８３－９７３－４２４１
・ＪＡ共済ホームページ　https://www.ja-kyosai.or.jp/
・ＪＡ共済地域貢献活動ホームページ　https://social.ja-kyosai.or.jp/

以　上

別添

◇昨年度実施した生徒向け自転車交通安全教室の様子

